

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立 舎人小学校 校長 大塚信明

1 学校教育目標

- ①考える子
- ②思いやりのある子
- ③たくましい子

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ①児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ②継続して読書に取り組むことで、すべての学習の基盤である語彙力、表現力を高めるとともに、豊かな感性や想像性を培う。
- ③学校図書館及び、校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 11,656 冊（蔵書基準冊数 10,360 冊）／ 蔵書率 112.5%（元年度末 110.5%）									
	② 新規購入図書 529 冊 ／ 廃棄図書 361 冊 ／ 増減冊数 168 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1%	1%	7%	6%	11%	4%	3%	6%	3%	58%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間 8：45～15：00									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 38.1 冊（前々年度末：29.48 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 82 %（前々年度末：86 %）									

（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 1,1957 冊（蔵書基準冊数 10360 冊）／ 蔵書率 115.4%									
	② 新規購入図書 694 冊 ／ 廃棄図書 283 冊 ／ 増減冊数 411 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1	0.7	7	5	10	3	2	6	3	58
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：8:45～15:30（前年度からの変更 なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 35.4 冊（前年度末：38.1 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 76 %（前年度末：86 %）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①学校図書館の正しい利用の仕方を知り、ルールを守って活用する態度を育てる。 ②読み物に興味をもち、読書を楽しむ態度を育てる。	
今年度の成果目標	①学校図書館の利用方法を授業で学び、知ることができる。 ②学校図書館を利用し、本を借りて読書することができる。 ③担任や図書支援員、ボランティアの方の読み聞かせを楽しむ。	達成基準 ①学校図書館オリエンテーションを4月に必ず行う。 ②1週間に1度、学校図書館を利用した授業を行う。 ③土曜授業や学校図書館を利用する際は、読み聞かせを行う。
目標達成状況	①週1回のオリエンテーションは4月に実施、ルールの周知を図った。 ②毎週1時間の図書の時間の確保。読書冊数50冊の達成の児童が55%の児童が達成。 ③図書ボランティアの保護者による月2回の読み聞かせの実施。	

第2学年	①学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用する態度を育てる。 ②いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用することができる。 ②自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ③担任や図書支援員、ボランティアの方の読み聞かせを楽しむ。	①学校図書館オリエンテーションを4月に必ず行う。 ②1週間に1度、学校図書館を利用した授業を行う。 ③土曜授業や学校図書館を利用する際は、読み聞かせを行う。
目標達成状況	
①学校図書館オリエンテーションを4月に実施。 ②1週間に1度、学校図書館を利用した授業の確保。目標の50冊の読書量を2学年は42%の児童が達成。 ③10月に学校図書館を利用した読み聞かせの実施。	
第3学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を確認し、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。 ③調べ学習を活用した授業を行う。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味がある本だけでなく学習に関連する本についても読み、分かったことをまとめることができる。 ②学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用することができる。 ③学校図書館の本を活用して調べる学習を行い、課題に対して自分の考えをまとめることができる。	①学習に関係する本を探したり、読んだりするために、1週間に1度学校図書館を利用した授業を行う。 ②学校図書館オリエンテーションを4月に必ず行う。 ③第3学年の調べる学習コンクール参加率15%以上
目標達成状況	
①総合的な学習の時間を利用した学校図書館を利用。年間50冊の読書冊数の達成率50%達成。 ②学校図書館オリエンテーションを4月に実施。 ③第3学年の調べる学習コンクール参加率4%と未達成。希望者のみ参加ではあるものの、児童の実態に応じて調べるコンクールに興味をもち、取り組みたいと思えるように読書活動を行う。	
第4学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を確認し、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。 ③調べ学習を活用した授業を行う。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味がある本だけでなく学習に関連する本についても読み、図鑑や辞書から分かったことをまとめることができる。 ②学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用することができる。 ③学校図書館の本を活用して調べる学習を行い、課題に対して自分の考えをまとめることができる。	①学習に関係する本を探したり、読んだりするために、1週間に1度学校図書館を利用した授業を行う。 ②学校図書館オリエンテーションを4月に必ず行う。 ③第4学年の調べる学習コンクール参加率15%以上
目標達成状況	
①学習に関係する本を探したり、読んだりするために、1週間に1度学校図書館を利用した授業の実施。年間5000ページの読書量の達成率は34%だった。 ②学校図書館オリエンテーションを4月に実施。 ③第4学年の調べる学習コンクール参加率3%と未達成。希望者のみ参加ではあるものの、児童の実態に応じて調べるコンクールに興味をもち、取り組みたいと思えるように読書活動を行う。	
第5学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ②資料や情報を集めて活用し、新聞やレポート、ポスターセッションなどで表現できる力を育てる。 ③学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用することができる。

今年度の成果目標	達成基準
①調べたいことがらについて適切な本や新聞から記事を選び、読むことができる。 ②複数の本や新聞からわかったことをまとめ、自分の考えを深めることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用することができる。	①学習に関係する本を探したり、読んだりするために、1週間に1度学校図書館を利用した授業を行う。 ②国語・社会・総合的な学習の資料や情報を集めて活用した作品を作成する。 ③学校図書館オリエンテーションを4月に必ず行う。

目標達成状況
①学習に関係する本を探したり、読んだりするために 3週間に1度学校図書館を利用した授業を行う ②国語「情報ノート」、総合的な学習「舎人米のことを調べるために」の資料や情報を集めて活用を行った。 ③学校図書館オリエンテーションを4月に実施、ルールの周知を図った。

第6学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ②資料や情報を集めて活用し、新聞やレポート、ポスターセッションなどで表現できる力を育てる。 ③学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用することができる。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
①調べたい事柄について適切な本や新聞などを選び、読書することができる。 ②複数の本や新聞からわかったことをまとめ、自分の考えを深めることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用することができる。	①学習に関係する本を探したり、読んだりするために、1週間に1度学校図書館を利用した授業を行う。 ②国語・社会・総合的な学習の資料や情報を集めて活用した作品を作成する。 ③学校図書館オリエンテーションを4月に必ず行う。

目標達成状況
①学習に関係する本を探したり、読んだりするために、3週間に1度学校図書館を利用した授業を行う。 ②国語「伊能忠敬」・社会「歴史の学習」・総合的な学習「仕事・職業のこと」の資料や情報を集めて活用を行った。 ③学校図書館オリエンテーションを4月に実施、ルールの周知を図った。

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果	
取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ①学級文庫を充実させられるよう、図書支援員とボランティアと8月までに計画を練る。 ②蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。	図書支援員と4月から学級文庫の環境を整えてきた。 廃棄図書を早期に確定し、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成した。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ①調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ②学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。	支援委員と相談しながら各学年必要な図書教材の提供を行った。 今年度は図書ボランティアの保護者と相談しながら、毎月変わる図書の壁面の装飾を行った。
【その他】 ①貸し出し：全学年 1週間に2冊 ②各学級で、読書の時間を意図的に設定する。(朝の読書) ③教師自身がたくさんの絵本や児童文学を読み、教師相互の情報交換をもつ。 ④学級では日頃から子供たちにお薦めの本として紹介していく。	朝の読書の実施。 教師自身が絵本を読む機会を設けた。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

- ・学校図書館を使った探究活動は情報教育の充実も重要である。次年度も教科・領域や休み時間等などの読書の機会を増やしていきたい。
- ・貸出冊数と読書量が一致すると限らないが、今年度高学年の貸出冊数が少なかったことが残念である。次年度は児童の読書記録を定期的に点検し、図書の実用化に努めたい。
- ・今年度から図書ボランティアの保護者と協力し、3年ぶりの「読み聞かせ」の実施をした。どの学年も普段触れることのない本に触れる機会となり、より一層図書に興味をもてるきっかけ作りになった。
- ・校内にクロームブックが導入されたことによって、休み時間はクロームブックに触れる時間が多くなり、これまでのように中休み、昼休みの貸出しは減少している。次年度は本を読むことの面白さや楽しさを教師自身が積極的に声掛けや読み聞かせ、学年での並行読書などを通して本に触れる機会を増やしたい。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

- ・教科、領域に関する図書揭示の実用化